

平成16年度 決算の概要

一般会計決算

秋のフリーマーケット
(コミュニティ・プラザ広場)



財政の硬直化に注意

経常収支比率大きな伸び

となりました。

一方、地方税などの一

般財源をどれだけ人件費・

公債費・扶助費などの経

常的経費に充てたかを判

断する、経常収支比率は、

前年度を大きく6.3ポ

イント上回り87.8%と

なりました。

この経常収支比率が高

いほど臨時的に使用でき

る余剰財源が少なく、財

政構造の弾力性を失いつ

つあると考えられていま

す。

16年度の一般会計は景

気の低迷、国による財政

改革により税の減少があ

りましたが、歳入歳出と

も決算総額は大型事業の

影響で、増加しました。通

常の事業規模では人件費・

物件費などの経費の削減

により約9100万円減
額となりました。

平成16年度決算額

(単位:万円)

会計区分	歳入	歳出	差引額		
一般	75億5,497	72億5,722	2億9,775		
特別事業	国民健康保険	11億1,851	10億1,273	1億0,578	
	老人保健	15億5,239	15億5,239	0	
	有線放送電話	8,287	8,147	140	
	観光施設貸付事業	2億7,469	2億7,458	11	
	富士見財産区	533	393	140	
	小計	30億3,379	29億2,510	1億0,869	
事業会計	水道事業	収益的収支	7億5,343	5億6,378	1億8,965
		資本的収支	8,004	3億6,918	2億8,914
	下水道事業	収益的収支	12億9,976	11億,0487	1億9,489
		資本的収支	3億6,797	8億1,400	4億4,603

下水道事業会計は平成15年度より企業会計となりました。
介護保険事業は平成15年度より諏訪広域連合へ移行されました。
本郷・落合・境及び乙事財産区会計は平成16年度より独立会計となりました。